

令和6年度 第1回兵庫県スポーツ推進審議会

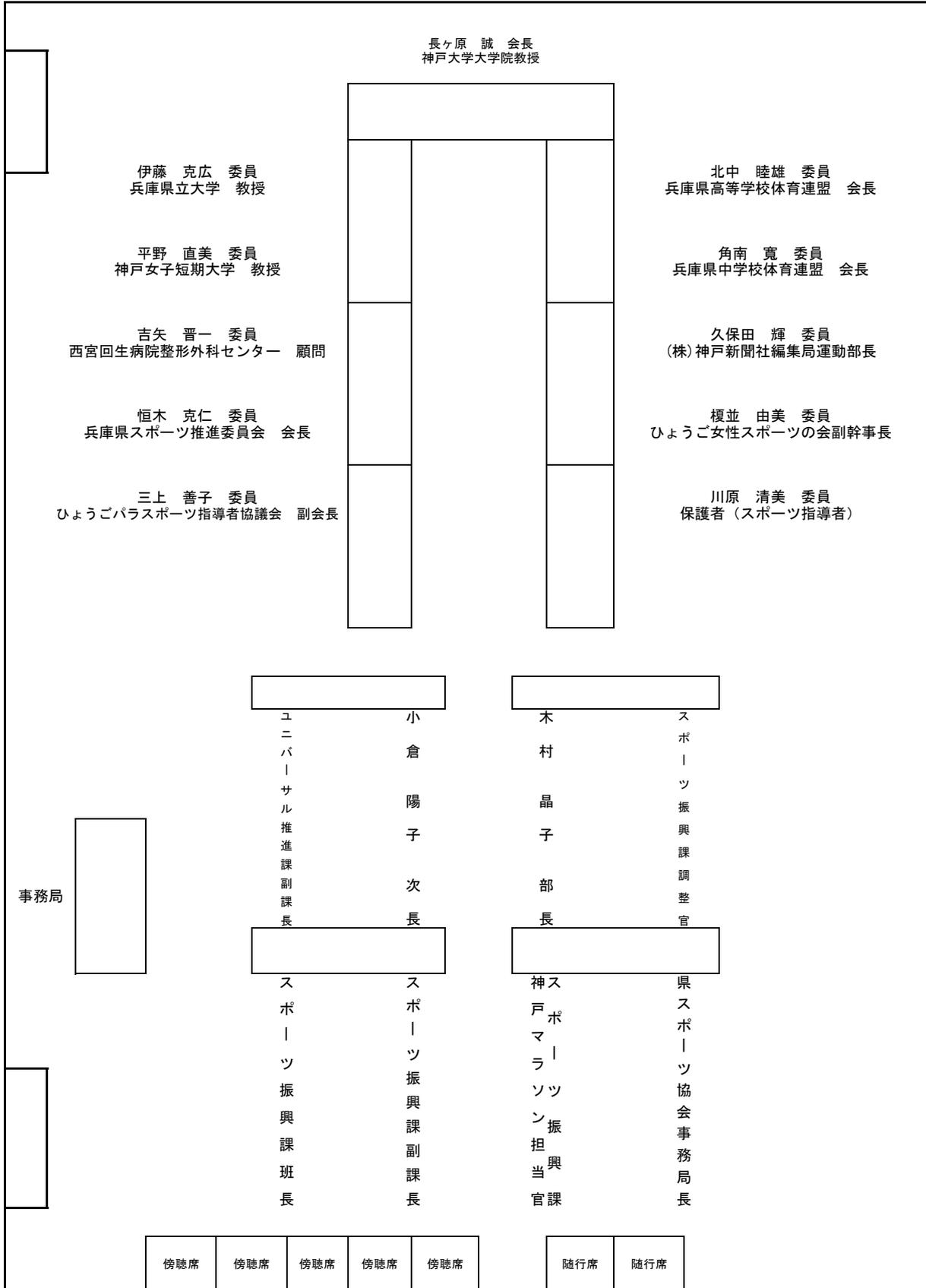
と き：令和6年9月11日（水）10：00～11：30
と ころ：兵庫県民会館7階 「亀」



- 1 開会あいさつ【木村 晶子 県民生活部長】
- 2 委員紹介
- 3 署名委員の指名
- 4 令和5年度第2回兵庫県スポーツ推進審議会の議事録の報告
- 5 審議事項
HYOGO スポーツエコシステムについて
- 6 報告事項
 - (1) 第2期兵庫県スポーツ推進計画令和6年度実施計画に基づく主要事業について
 - (2) 令和6年度スポーツ振興団体に交付する補助金について
- 7 その他
- 8 閉会あいさつ【丸山 靖 スポーツ振興課スポーツ推進調整官】

令和6年度第1回スポーツ推進審議会 座席図

県民会館「亀」



兵庫県スポーツ推進審議会委員

(任期：令和5年9月1日～令和7年8月31日)

	分野	氏名	所属・役職名	出欠
1	スポーツ科学	長ヶ原 誠	神戸大学大学院・教授	○
2	スポーツ社会学	伊藤 克広	兵庫県立大学・教授	○
3	食育・栄養学	平野 直美	神戸女子短期大学・教授	○
4	子ども発達学	倉 真智子	神戸松蔭女子学院大学・教授	欠席
5	医科学	吉矢 晋一	西宮回生病院整形外科センター・顧問	○
6	コーチ学	鷗木千加子	甲南大学・教授	欠席
7	スポーツ 関係団体	中西 進	(公財)兵庫県スポーツ協会・副会長	欠席
8		恒木 克仁	兵庫県スポーツ推進委員会・会長	○
9	競技団体代表	小林 芳子	日本スケート連盟・強化副部長	欠席
10	障害者スポーツ	三上 善子	ひょうごパラスポーツ指導者協議会・副会長	○
11	学校 スポーツ関係	北中 睦雄	兵庫県高等学校体育連盟・会長	○
12		角南 寛	兵庫県中学校体育連盟・会長	○
13	報道	久保田 輝	神戸新聞社・運動部長	○
14	公募委員	榎並 由美		○
15		川原 清美		○

兵庫県スポーツ推進審議会規則をここに公布する。

兵庫県スポーツ推進審議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、兵庫県スポーツ推進審議会条例（昭和37年兵庫県条例第21号）第5条の規定に基づき、同条例に定めるもののほか、兵庫県スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）の組織及び運営に関して必要な事項を定めるものとする。

(委員)

第2条 委員は、次に掲げる者のうちから、知事が委嘱する。

- (1) 学識経験のある者
- (2) 関係団体を代表する者
- (3) その他知事が必要と認めた者

2 委員は、再任されることができる。

(会長)

第3条 審議会に、会長を置く。

2 会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

4 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第4条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(補則)

第5条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関して必要な事項は、審議会が定める。

附 則

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

4 令和5年度第2回兵庫県スポーツ推進審議会

議事録の報告

令和5年度第2回兵庫県スポーツ推進審議会 議事録

- 1 期日・場所 令和6年3月13日(水) 10:00~12:00
兵庫県民会館「亀」
〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目16-3
- 2 出席者
(委員13名) 長ヶ原委員 伊藤委員 平野委員 倉委員 吉矢委員
鳩木委員 中西委員 恒木委員 三上委員 角南委員
久保田委員 榎並委員 川原委員

(行政関係者) 小倉次長(県民生活部)
相浦課長(福祉部ユニバーサル推進課)
内藤課長(教育委員会事務局体育保健課)
織邊スポーツ推進調整官(県民生活部スポーツ振興課)
八瀬事務局長(公益財団法人兵庫県スポーツ協会)
新谷マラソン担当官(県民生活部スポーツ振興課)

森鼻副課長(県民生活部スポーツ振興課)
宮本競技・生涯スポーツ班長(県民生活部スポーツ振興課)
榎木主任スポーツ振興専門員(県民生活部スポーツ振興課)
蓬野主任スポーツ振興専門員(県民生活部スポーツ振興課)
- 3 開会あいさつ 小倉次長
- 4 委員紹介 第1回欠席者のみ自己紹介
- 5 会長あいさつ 長ヶ原会長
- 6 署名委員の指名 署名委員は、平野委員、中西委員に決定
- 7 前回議事録の報告 スポーツ振興課副課長より説明し、承認を受けた。
- 8 審議事項
(1) 令和6年度スポーツ振興団体に交付する補助金について
スポーツ振興課副課長が説明し、承認を受けた。
- 9 報告事項
(1) 第2期兵庫県スポーツ推進計画の令和6年度実施計画について
令和5年度の総括指標・関連指標の達成状況及び令和6年度各指標に関連する事業について、スポーツ振興課スポーツ推進調整官(以下、スポーツ推進調整官)が説明した。

(2) 令和6年度の主要事業について
① スポーツ振興課に関する主要事業について、スポーツ推進調整官が説明した。
※神戸マラソンについては、スポーツ振興課マラソン担当官が説明
② 体育保健課に関する主要事業について、体育保健課長が説明した。
③ ユニバーサル推進課に関する主要事業について、ユニバーサル推進課長が説明した。

(3) HYOGO スポーツ新展開検討委員会について

スポーツ推進調整官及び長ヶ原会長（HYOGO スポーツ新展開検討委員会座長）が検討委員会、分科会、提案内容（HYOGO スポーツエコシステム）について説明した。

■ 委員の主な意見及び事務局の説明

令和6年度スポーツ振興団体に交付する補助金について

<国民スポーツ大会兵庫県選手団派遣費>

【長ヶ原会長】

○ 国体派遣費について、700万円ほどの減額であるが、開催地が鹿児島であったためか。

【行政関係者（森鼻副課長）】

○ 今年度は、鹿児島県開催、冬季大会も北海道開催と遠方であった。次年度は、開催地が若干近くなるという理由から減額となっている。

<スポーツ大会招致事業>

【長ヶ原会長】

○ スポーツ大会招致事業について、アーバンスポーツも対象となり得るのか。また、拠点化をめざし、変更があったと聞いているが。

【行政関係者（森鼻副課長）】

○ アーバンスポーツも申請があれば、対象として考える。また従前、1大会1回限りの補助であったところを、3年以上の継続開催の大会については、3年間に限り対象としている。

【鶴木委員】

○ スポーツ大会招致事業について、例年どおり予算が600万円となっているが、例年の申請数・金額などの実績を教えてもらいたい。

【行政関係者（森鼻副課長）】

○ 全国規模の大会を条件にしているので、1大会について上限の100万円補助が多い。補助件数については、令和5年度は5件であり、例年4大会、3大会の申請がある。毎年、申請があるので600万円を予算としている。

<競技スポーツ振興事業>

【久保田委員】

○ 競技スポーツ振興事業について、338万円の減額となっているが、具体的にどのような事業から減額されているのか。

【行政関係者（森鼻副課長）】

○ 県の事業全般に言えることであるが、厳しい財政状況から一律に減額されている面がある。この事業の総額から見ると割合的には少ないが減額となっている。具体的にどの事業を削ったのではなく、各事業の内容を精査し、減額できるものは減額したうえで、予算額を計上している。

【久保田委員】

○ 厳しい財政状況は理解できるが、無理のない減額で。

第2期兵庫県スポーツ推進計画の令和6年度実施計画について

<政策目標1>

【平野委員】

○ 政策目標1の「スポーツや運動を週60分以上実施する児童・生徒の割合」における中学2年生で低下が見られるが、部活動に加入していないなどの理由も考えられる。政策目標2の成人女性のスポーツ実施率で高い達成率を示していることから、今後は、年代別に細かにターゲットを絞って見ていくことも重要である。

【行政関係者（スポーツ推進調整官）】

○ この調査は、スポーツ庁の悉皆調査を参考にしているが、今年度の質問内容が昨年度より若干変

更されている。前回は「保健体育の授業以外でどのくらい運動しているか（遊びも含めて）」との質問であったが、今年度は「学校の運動部活動や地域クラブ活動、地域のスポーツクラブ、それ以外の運動やスポーツをしている時間は？」との質問内容に変更となっている。活動自体は大きな変化はないと感じているが、質問内容の「運動やスポーツ」が強く示されたことで回答に影響があったのではないかと推察している。

【行政関係者（内藤体育保健課長）】

- 質問内容の変更もあったが、この質問では、登下校に係る徒歩などを運動時間を含むかどうかで大きく変わる懸念もある。また、質問が変更されたことに加えて、コロナ禍を小学校2年生、3年生で迎えていた児童の結果が、このような状況にあるとの見方もある。全国的にも同じような傾向である。

【長ヶ原会長】

- 大人の調査では、労働環境もアクティブになった方が良いとのことで、通勤時間や自由時間を含めて対象となっている。数値を見ながら我々は意見を交わすので、対象項目を統一することは重要である。

【行政関係者（内藤体育保健課長）】

- スポーツ庁の調査であるので、国が変更しなければ変更できないが、機会があれば意見していく。

<政策目標3>

【鳩木委員】

- 政策目標3の関連指標「選手の育成・強化に医・科学スタッフを活用する競技団体数の増加」について、カウントの仕方を前年度の利用団体はありきとして新規の団体を増やしていくことを目標とするのか、また減少の場合は単純に減少なのか、入れ替わりもあったのかを見る必要がある。また、競技団体には、その下部組織として幾つかの連盟が組織されている場合がある。その中の1つに医科学スタッフが登録されていれば競技団体としてカウントするのも考慮したほうがよい。

【吉矢委員】

- 政策目標3の関連指標「選手の育成・強化に医・科学スタッフを活用する競技団体数の増加」について、競技団体に医科学委員会が設置されている場合をカウントするのか、あるいはドクターやトレーナーがいる場合をカウントするのか、何に基づいているのか。

【行政関係者（県スポーツ協会八瀬局長）】

- 加盟団体においては、独自でトレーナーを養成するなどの取組を進めている団体が増えつつある。ただ、現状の課題としては、18団体程度がほぼ固定化しており、国スポ時などに医科学スタッフを活用している状況にある。カウントの仕方については、競技団体にいるかいないかの確認であるが、県スポーツ協会としては競技力向上のためにトレーナーなどの活用は重要と考えているので、今後、各競技団体にヒアリングを行う際に支援方法についても説明していく。

【長ヶ原会長】

- 競技団体に協力している医科学スタッフも、かなりボランティア要素も強いと聞いているので、その改善方策も含め、考えていく必要がある。

<政策目標4>

【三上委員】

- 障害者スポーツの公認指導者数について、ここ数年減少傾向にある。パラスポーツ普及のために指導者を増やそうと働きかけをしているところだが、指導者の年間登録費に3,800円かかる現状がある。また、ボッチャや卓球、バレーボールなど競技団体によっては独自資格の取得により地域での活動が可能になるため、公認の資格取得者は減少傾向にある。活動されている方自体は増えているが、今後この数値の増加は難しいと考える。

【行政関係者（相浦ユニバーサル推進課長）】

- パラスポーツ関係の会議でも、指導者の高齢化や減少傾向にあることは指摘されている。今後、若い指導者を増やしていく取組や、特別支援学校との連携、教育委員会の研修へユニバーサル・パ

ラスポーツの周知を行っていく。また、現指導者の方にも、やりがいを持って活動いただけるような仕組みづくりも考えていく。

【長ヶ原会長】

- 公認の障害者スポーツ指導者が1,000人を超えているのは全国で4県しかなく、その1つが兵庫である。今年の世界パラ陸上競技選手権大会も開催されるので、指導者の増加にも期待したい。また、初級・中級の障害者スポーツ指導者資格を取得できる大学も10校ほどあると聞いているので、大学も資格制度を支援できる仕組みを整えていくことも必要かと思う。

【三上委員】

- 大学で資格を取得した方が、どこで活動ができるか戸惑っている面もあるかと思う。活動に悩んでおられる方がいれば、大学とも連携しながら支援していければと考えている。

令和6年度の主要事業について

<スポーツ振興課事業>

【鶴木委員】

- ジュニア育成について、専門化の早期化は良い面もある一方、問題もあると前回会議で意見した。それを踏まえた取組を考えているか教えてもらいたい。ないようであれば、引き続き留意していただきたい。

【行政関係者（県スポーツ協会八瀬局長）】

- ジュニア層の発掘・育成、またスポーツを好きになってもらう観点で、「兵庫五国スポーツキャラバン」というスポーツを体験する事業を開催している。一例として、淡路地区で相撲やソフトテニス、バレーボール、ボート、ラグビーなど複数種目の体験会や但馬地区ではアイスホッケーやスケート、陸上競技などの体験会を開催した。まずはスポーツを体験してもらい、そこで子どもたちに色々なことを感じてもらい、スポーツをする子どもの普及につなげていく。

【鶴木委員】

- 普及のためのキャラバンはとても良いが、次の育成段階において「専門化の早期化」に十分留意していただきたい。

【伊藤委員】

- キャラバンについて、競技団体に周知はされているだろうが、さらにその下の子どもの活動現場にまでは情報が行き届いていない。色々な体験から、子どもが将来どのスポーツの道に進むのかを考えることができるよう、キャラバン事業についての情報が、活動現場に行き届く方策を考えていただきたい。

【伊藤委員】

- 令和6年度からの新たな取組として、「プロスポーツクラブとの連携」がある。勤務先の大学が県立大学であることから、大学をもっと有効活用いただき、学校とプロスポーツクラブが連携した地域活性化を進めていただければと思う。ぜひ、兵庫県からも色々な意見をいただきたい。

<体育保健課事業>

【平野委員】

- 健康教育・食育に関して、有機農産物の活用とあるが、PR方法や今後どのように外部へ発信していくか教えていただきたい。

【行政関係者（内藤体育保健課長）】

- 地場産物の活用や流通については農林水産部、有機作物については農業改良課、学校における食育を本課が担当しているが、今後連携しながら取組を進めていく予定である。

※部活動地域移行について

【長ヶ原会長】

- 部活動地域移行については、委員の方々も気になる議題かと思うので、情報交換をお願いしたい。

【角南委員】

- 令和5年度から、地域のスポーツクラブが全国中学校体育大会の予選に参加できるようになった。

参加のためにはガイドラインを遵守しているクラブが対象となるが、今年度は119の申請があった。これは全国で3番目に多い。次年度も150を超える申請があり、これから審議を行う。初年度と言うこともありトラブルも多々あり、現在係争中のものもある。部活動地域移行は大きな変革であり、今まで学校が担っていたものを地域に移行するには受け皿が必要であり、教員の関わりをどうするかといった問題もある。かつて、サッカーにおいて、Jリーグ発足の頃、サッカー協会に登録料を支払い登録しなければ、中学校のサッカー部の生徒が試合に出られないという大きな変革があった。その際も地域により対応がバラバラであり、登録料以外の面でできる限り費用負担の少なくする方法を模索し、地域でできることから始めた記憶がある。今回も同様で、地域の状況に応じて、できることから少しずつ進めていければと考えている。かつて登録料で猛反発のあったサッカーも今では登録が当たり前になっている。新展開検討委員会の提案内容を見ると、部活地域移行にとって期待できるような内容も含まれている。地域も含め、色々な協力・理解を得ながら、できることから進めて行ければと思う。

【伊藤委員】

- 部活動地域移行については、指導者の確保がかなり難しいと感じている。スポーツ推進審議会で関わっている尼崎市でも、その他播磨町でも指導者確保がネックと聞いている。これに関連し、部活動指導員に年齢制限等がないのであれば、大会引率は難しいが、日々の練習で高校生が中学生を指導、あるいは中学生が小学生を指導するといった、柔軟なシステムを構築していくことを考えても良いかと思う。海外では取り入れられているシステムであるが、指導する側も自分のスポーツを客観的に見る機会となり、競技技術の向上につながると言われている。

<ユニバーサル推進課事業>

【三上委員】

- 例年4月あるいは5月に開催されている「のじぎくスポーツ大会」について、募集要項を早めに出してほしいとの現場の声がある。ある市町では、要項発表から申込締切りまでの時間が2週間ほどの短期間であったこともあるそうで、見逃してしまう方も多いと聞く。対応をお願いしたい。

【行政関係者（相浦ユニバーサル推進課長）】

- 課内で徹底を図る。

11 閉会あいさつ 織邊スポーツ推進調整官

12 閉会

【署名委員】

平野直美

中西進

5 審議事項

HYOGO スポーツエコシステムについて(別冊資料参照)

6 報告事項(1)

第2期兵庫県スポーツ推進計画

令和6年度実施計画に基づく主要事業について

第2期兵庫県スポーツ推進計画と令和6年度実施計画

基本理念	政策目標	施策目標	指標	令和5年度	令和6年度	令和8年度	令和13年度	令和6年度の主要事業	
				現状値	目標値	目標値	目標値		
「する・みる・やさえる」スポーツへの参画を通じて、「躍動する兵庫」の実現をめざす。	1 子ども・ユーススポーツの推進	1 運動・スポーツが好きな子どもへの創出	総括指標〔再掲〕 運動・スポーツが好きな子どもの増加	86.1%	87.5%	89.0%	93.0%	1 「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト事業(スポーツ振興課)	
	総括指標 運動・スポーツが好きな子どもの増加	2 保育・発達段階に対応したスポーツ環境の整備	保護者等と一緒に参加できるスポーツイベントを開催する自治体数の増加	30市町	34市町	41市町(全市町)	—	2 地域スポーツ活性化支援事業(スポーツ振興課)	
		3 ファミリースポーツ等の機会の充実	スポーツや運動を週60分以上実施する児童・生徒の割合の増加	小学校5年生 男子	91.2%	92.9%	93.7%	95.8%	3 スポーツ大会招致事業(はばたんスポーツ基金)(スポーツ振興課)
				小学校5年生 女子	84.1%	88.3%	89.7%	93.1%	4 幼児の運動習慣づくり推進事業(スポーツ振興課)
	中学校2年生 男子	89.9%	94.4%	95.0%	96.7%	5 プロスポーツクラブと連携した地域活性化プロジェクト(スポーツ振興課)			
		中学校2年生 女子	74.1%	84.1%	85.9%	90.7%	6 子ども・ユーススポーツ推進プロジェクト(スポーツ振興課)		
		ユース世代(中学生・高校生)を対象に一貫した育成制度を有する競技団体数の増加	33団体	35団体	37団体	41団体	7 体育実技指導力向上事業(体育保健課)		
	2 生涯スポーツの推進	4 誰もが気軽に参画できるスポーツ機会の充実	総括指標〔再掲〕 成人のスポーツ実施率の向上	61.0%	67.2%	70.0%	73.0%	8 幼稚園・小学校教員体育実技指導力向上事業(体育保健課)	
	総括指標 成人のスポーツ実施率の向上	5 総合型地域スポーツクラブの質的充実	成人の週1回以上のスポーツ実施率の向上	男性	57.3%	69.4%	72.0%	74.0%	9 スポーツツーリズムの展開(観光振興課)
			女性	68.3%	65.0%	68.0%	72.0%	10 競技スポーツ振興事業(スポーツ振興課)((公財)兵庫県スポーツ協会)	
		6 行政、スポーツ団体、大学、民間事業者の連携強化	コンソーシアムを組織し、地域スポーツの活性化に取り組む自治体数の増加	5市町	26市町	41市町	—	11 体カアップサポーター派遣事業(体育保健課)	
		過去1年間のスポーツの観戦者の割合の増加	31.7%	33.9%	35.9%	40.9%	12 県立学校部活動指導員配置事業(体育保健課)		
3 競技スポーツの推進	7 次世代アスリートの発掘・育成	総括指標〔再掲〕 国民体育大会をはじめ国内外の大会で顕著な成績をおさめる兵庫ゆかりの選手の増加	537人	472人	480人	500人	13 中学校部活動指導員配置事業(体育保健課)		
総括指標 国民体育大会をはじめ国内外の大会で顕著な成績をおさめる兵庫ゆかりの選手の増加	8 アスリートの育成と強化環境の整備	国民大会で入賞(種別)する競技団体数の増加	24団体	22団体	28団体	28団体	14 スポーツ分野におけるローカル5G等ICT活用支援事業(情報政策課)		
		(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者について	指導者数の増加	1,579人	1,120人	1,140人	1,200人	15 関西マスターズゲームズin HYOGO 開催事業(スポーツ振興課)	
	9 トップアスリートが活躍できる場の支援	女性指導者の割合の増加	22.0%	27.0%	30.0%	33.0%	16 子どもの冒険ひろば事業(男女青少年課)		
Team HYOGOアスリートキャリアフォーラム(就業支援)へ参加する企業数の増加		15社	17社	19社	24社	17 ひょうご女性スポーツの会の活動支援(スポーツ振興課)			
	選手の育成・強化に医・科学スタッフを活用する競技団体数の増加	18団体	31団体	41団体	—	18 神戸マラソン2023の開催(スポーツ振興課)			
4 障害者スポーツの推進	10 障害者スポーツの裾野拡大	総括指標〔再掲〕 障害者スポーツの参画人口の拡大	29,530人	47,000人	57,000人	72,000人	19 スポーツに関連するボランティア情報等の発信(県民躍動課)		
総括指標 障害者スポーツの参画人口の拡大	11 障害者スポーツの競技力向上	一般競技団体や実業団チームとの交流会開催数の増加	7回	14回	16回	21回	20 シニアニュースポーツ普及支援事業(県民躍動課)		
		公認障害者スポーツ指導者数の増加	1,217人	1,450人	1,550人	1,800人	21 全国健康福祉祭(ねんりんピック)予選会の開催(高齢政策課)		
	12 障害者スポーツへの理解促進	障害者スポーツ応援協定締結団体数の増加	89団体	92団体	94団体	99団体	22 全国健康福祉祭派遣事業(高齢政策課)		
						23 老人クラブによる健康づくり・介護予防支援事業(高齢政策課)			
						24 健康体操普及促進事業(健康増進課)			
						25 阪神南ふれあいスポーツフェスタ2023(阪神南県民センター)			
						26 サイクリングアイランド淡路島の推進(淡路県民局)			
						27 (公財)日本スポーツ協会公認アシスタントマネージャー養成事業((公財)兵庫県スポーツ協会)			
						28 指導者養成プログラム事業((公財)兵庫県スポーツ協会)			
						29 阪神南ブランド力向上事業(阪神南県民センター)			
						30 Team HYOGOアスリートキャリアフォーラム((公財)兵庫県スポーツ協会)			
						31 障害者のじぎくスポーツ大会開催事業(ユニバーサル推進課・兵庫県障害者スポーツ協会)			
						32 パラスポーツ拡大推進プロジェクトの展開(ユニバーサル推進課・兵庫県障害者スポーツ協会)			
						33 兵庫車いすロードレース開催事業(ユニバーサル推進課・兵庫県障害者スポーツ協会)			
						34 はばたん障害者スポーツ振興事業(ユニバーサル推進課・兵庫県障害者スポーツ協会)			
						35 障害者(児)スポーツ等応援プロジェクト事業(ユニバーサル推進課)			
						36 全国障害者スポーツ大会選手派遣・育成事業(ユニバーサル推進課・兵庫県障害者スポーツ協会)			
						37 障害者スポーツネットひょうごとの連携(兵庫県障害者スポーツ協会)			

スポーツ振興課

スポーツによる地域活性化の推進

- 1 **新** プロスポーツクラブと連携した地域活性化プロジェクト（スポーツ振興課） 60,000 千円
【ふるさとひょうご寄附金】

プロスポーツクラブとの連携により、プロスポーツの試合観戦招待やスポーツ教室を開催するなど、地域活性化事業を展開する。

【実施内容(例)】

- ・子どものプロスポーツ試合観戦招待
- ・選手・スタッフによるスポーツ教室の開催
- ・スポーツ関連イベントの開催

- 2 **新** 子ども・ユーススポーツ推進プロジェクト（スポーツ振興課） 5,000 千円
【ふるさとひょうご寄附金】

ふるさと納税の活用により、子どもを対象としたスポーツ教室やイベント等の開催など、子どもたちがスポーツに触れる機会を充実する。

【実施内容(例)】

- ・ゴルフ場を貸し切り、親子でコースを回るイベントを開催

- 3 **神戸マラソン2024** の開催（スポーツ振興課） 68,883 千円

県民のスポーツ振興を図るとともに阪神・淡路大震災の復興支援への感謝や兵庫・神戸の魅力を国内外に発信するため、「神戸マラソン2024」を開催する。

- (1) 開催日 令和6年11月17日(日) (予定)
(11月15日(金)・16日(土)ランナー受付及びマラソンEXPO)
- (2) コース スタート(神戸市役所前)～折り返し(明石海峡大橋の西方(垂水区西舞子))～フィニッシュ(ポートアイランド(市民広場付近))
- (3) テーマ 「感謝と友情」
- (4) 出走者 約2万人

競技スポーツ・生涯スポーツの推進

1 第2期兵庫県スポーツ推進計画（スポーツ振興課）

「第2期兵庫県スポーツ推進計画」（令和4年3月策定）に基づき、「する・みる・ささえる」スポーツへの参画を通じて、「躍動する兵庫」の実現をめざし、子ども・ユーススポーツ、生涯スポーツ、競技スポーツ、障害者スポーツの推進に取り組む。

2 競技スポーツ振興事業（スポーツ振興課）

194,933 千円

競技団体との連携のもと、国スポ選手等の強化や、次世代を担うジュニアアスリートの育成、子どもの運動・スポーツ機会創出等に取り組み、トップアスリート層の拡大を目指す。また、これらの活動を支援する指導者の養成にも取り組む。

3 幼児の運動習慣づくり推進事業（スポーツ振興課）

320 千円

第2期スポーツ推進計画に基づき、運動・スポーツが好きな子どもの増加を図るため、乳幼児期からの運動習慣の基盤づくりに取り組む。令和5年度は専門家による推進会議を設置し、課題等の分析をするとともに、保育者を対象にアンケート調査を実施。令和6年度はアンケート結果を基に、保育者向けの報告書を作成し、現場にフィードバックする。

4 スポーツ大会招致事業（スポーツ振興課）6,000 千円【はばタンスポーツ基金】

質の高い競技や演技を観戦する機会を県民に提供するため、のじぎく国体・大会を契機に設置した「はばタンスポーツ基金」を活用し、全国、国際規模の大会等を招致する。

- (1) 助成対象 （公財）兵庫県スポーツ協会及びJSP0、JOC に加盟する団体が主催または主管する国際大会や全国規模の競技大会等
競技の聖地化に向けて、複数年連続（上限3回）に拡充（現行1回）
- (2) 助成額 大会運営費（食料費、事務局運営費、備品購入費等除く）に応じた助成（1大会上限100万円）

5 「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト事業（スポーツ振興課） 2,639 千円

【勤労者福祉基金】

「スポーツクラブ21 ひょうご」（以下SC21）について、スポーツ大会等を通じてクラブの連携を促進するとともに、活動の活性化等と自主自立に向けた取組を支援し、「スポーツ立県ひょうご」の実現に取り組む。

(1) スポーツ立県ひょうご推進会議の開催

対 象：SC21 地区代表者、県スポーツ推進委員会、県スポーツ協会、県障害者スポーツ協会、県レクリエーション協会、ひょうご女性スポーツの会、競技団体、市町スポーツ所管課担当者 等

内 容：「スポーツ立県ひょうご」の実現に向けた課題共有・情報交換

(2) 全県スポーツサミットの開催

対 象：SC21 代表者、市町体育・スポーツ協会代表者、市町行政代表者、地域スポーツ関係者 等

内 容：情報交換、事例発表 等

(3) 「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト

SC21 が各地域で、だれもが生涯にわたってスポーツを楽しむことができる環境づくりを創出

- ①大学や企業と連携したスポーツイベント等の開催
- ②障害者スポーツと連携したスポーツ教室等の開催
- ③親子で行うスポーツ大会やスポーツフェスティバル等の開催

6 ひょうご女性スポーツの会の活動支援（スポーツ振興課）	3,500 千円
-------------------------------------	-----------------

女性のスポーツ環境の向上、女性指導者の育成、女性スポーツ人口の増加をめざし、女性の競技別大会の開催や競技の枠を越えた研修会に取り組むひょうご女性スポーツの会の活動を支援する。

- (1) 総会・総合開会式 講演及び競技別大会総合開会式の開催
- (2) 競技別大会 各競技団体による冠称大会の開催
- (3) 女性指導者育成のための研修会への参加
- (4) 京都女性スポーツの会との交流
- (5) 女性スポーツ参画促進イベントの開催

7 地域スポーツ活性化支援事業（スポーツ振興課）	1,200 千円
---------------------------------	-----------------

県民全体のスポーツ実施率向上を図るため、市町単位でコンソーシアムの設置を促進し、スポーツイベント開催に要する経費を支援する。

- (1) 補助対象 市町で設置されたコンソーシアム

コンソーシアム = 市町内の行政を含む、スポーツ団体、大学、民間事業者など複数の団体から成る共同事業体

- (2) 補助金額 100 千円
- (3) 補助率 経費の1/2 ※県：市町 = 1：1
- (4) イベント例 親子等でスポーツ体験会、種目別選手権大会 等

8 ワールドマスターズゲームズの開催準備（スポーツ振興課）	4,964 千円
--------------------------------------	-----------------

2027 年5月に開催されるワールドマスターズゲームズ（WMG）について、既存の競技大会に「WMG」の冠を付けて開催し、引き続き大会機運の維持や醸成に取り組む。

■「ワールドマスターズゲームズ」の概要

- (1) 主催 (公財) ワールドマスターズゲームズ2021 関西組織委員会
- (2) 共催 (公財) 日本スポーツ協会、(公財) 日本パラスポーツ協会
- (3) 開催時期 2027 年5月
- (4) 開催場所 兵庫県を含む関西地域
- (5) 開催競技 公式競技35 競技59 種目 (うち兵庫県開催11 競技15 種目)
- (6) 参加者 目標5万人 (国内3万人、国外2万人) (概ね30 歳以上)

9 関西マスターズゲームズ in HYOGO の開催事業（スポーツ振興課） 5,579 千円

ワールドマスターズゲームズ2021 関西を機に醸成してきたスポーツ機運を継続し、さらにすそ野を広げるため関西マスターズゲームズを開催する。

(1) 総合開会式の実施

開催日 令和6年4月27日（土）

場 所 県民会館

(2) 競技別大会「関西マスターズゲームズ」の開催

時 期 令和6年4月～令和7年3月

場 所 県内各市町

種 目 グラウンド・ゴルフ等 計44種目（予定）

(3) 県民ふれあい大会体験会の開催

開催日 令和6年11月24日（日）

場 所 しあわせの村（予定）

種 目 ペタンク等 計18種目

10 新 県立体育施設の管理運営（スポーツ振興課） 395,177 千円

青少年はじめ県民の健康で文化的な生活の向上を図るため、県民のスポーツ・体力づくりの場として、県内6体育施設を運営。

（単位：人）

名称	所在地	R5 利用者	R4 利用者	指定管理者
神戸常盤アリーナ （県立文化体育館）	神戸市	504,588	517,158	兵庫県立文化体育館ファシリティ共同体
県立神戸西テニスコート	神戸市	59,320	61,887	（株）ITC
Life partner Arena （県立総合体育館）	西宮市	404,624	381,295	ひょうごスポーツライフグループ
県立海洋体育館	芦屋市	50,047	52,481	（公財）兵庫県スポーツ協会
県立弓道場	明石市	29,111	23,772	（公財）兵庫県スポーツ協会
県立武道館	姫路市	412,317	351,926	兵庫県スポーツ協会武道館グループ

ユニバーサル推進課

全ての人がある能力を發揮して、多様な社会参加ができる社会

文化芸術活動、スポーツ等を通じた、高齢者、障害者及び外国人をはじめ、様々な人との交流の促進

1	新 ユニバーサルなスポーツ施設調査・検討事業	1,042千円
	パラスポーツの振興を図るため、県内スポーツ施設の現状調査等を実施し、障害者・健全者がともに使いやすい「ユニバーサルなスポーツ施設のあり方」を検討	
2	新 神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会への支援	100,000千円
	東京2020パラリンピック競技大会で醸成された機運やレガシーを絶やさずパラスポーツの振興を図るため、神戸で開催される世界パラ陸上競技選手権大会への支援を実施	
3	パラスポーツ拡大推進プロジェクトの展開	36,848千円
	神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会のレガシーを継承するため、パラアスリートとの交流やパラスポーツ体験事業、次代を担うパラアスリートの発掘育成の取組を引き続き実施	
4	兵庫ユニバーサルマラソンの開催	1,033千円
	神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会のレガシーを継承し、障害者の社会参加促進とパラスポーツの振興を図るため、県立公園等において、車いすロードレース、ユニバーサルリレー、パラスポーツ体験会を複合的に実施	
5	障害者のじぎくスポーツ大会の開催	5,038千円
	障害者スポーツの振興、障害者の社会参加、県民の理解促進を目的として障害者のじぎくスポーツ大会を開催	
	・陸上競技、水泳、卓球、フライングディスク等	
6	全国障害者スポーツ大会選手派遣・育成事業	21,074千円
	令和6年10月に佐賀県で開催される第23回全国障害者スポーツ大会への選手団の派遣及び選手の育成	
7	はばタン障害者スポーツ振興事業	2,170千円
	障害の有無や程度に関係なく障害者スポーツに親しむことができる参加型イベントや県内各地で地元住民により開催されるスポーツイベントの支援等の事業を実施	

8 障害者スポーツ拠点施設におけるスポーツ事業の実施**36,543千円**

スポーツを通じて障害者の社会参加を図るとともに、県民相互の交流を促進するため、県のリハビリテーションセンター内にあるスポーツ交流館において、スポーツ教室の開催や予防的リハビリテーションの普及、指導者の養成等を実施

○県立障害者スポーツ交流館（西区）：スポーツ大会・研修会等の開催

○ふれあいスポーツ交流館（たつの市）：スポーツ教室・大会・講習会等の開催

9 障害者（児）スポーツ等応援プロジェクト事業**995千円**

ふるさとひょうご寄附金を活用して障害者スポーツの競技用具を購入することにより、障害者アスリートを支援。また、障害児が新たな経験・体験をする機会を確保するため、障害児入所施設における備品等の購入費や活動経費等を助成

6 報告事項(2)

令和6年度スポーツ振興団体に交付する補助金について

令和6年度スポーツ振興団体に交付する補助金について

[根拠] スポーツ基本法（平成23年法律第78号）

第三十五条 国又は地方公共団体が第三十三条第三項又は前条の規定により社会教育関係団体であるスポーツ団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国にあつては文部科学大臣が第九条第二項の政令で定める審議会等の、地方公共団体にあつては教育委員会（特定地方公共団体におけるスポーツに関する事務（学校における体育に関する事務を除く。）に係る補助金の交付については、その長）がスポーツ推進審議会等その他の合議制の機関の意見を聴かななければならない。

兵庫県スポーツ推進審議会条例（令和5年3月22日条例第24号）

第2条 審議会は、知事の諮問に応じ、次に掲げる事項を調査審議する。

(2) 法第35条の規定によるスポーツ団体に対する補助金の交付に関する事項
(単位：千円)

	スポーツ振興団体名	事業名・事業概要	補助率	R5補助金額	R6補助金額	増減額	所管課
1	公益財団法人兵庫県スポーツ協会	公益財団法人兵庫県スポーツ協会運営費補助 県民の体力の向上、児童・生徒の健全な発育及びスポーツ精神の高揚を図り、もって本県スポーツの振興、健康の増進、文化の高揚及び福祉の増進に寄与することを目的とする当該協会に対し、運営費の一部を補助する。	定額	60,001	72,371	12,370	スポーツ振興課
2	公益財団法人兵庫県スポーツ協会	競技スポーツ振興事業 第2期兵庫県スポーツ推進計画の基本理念のもと、県内スポーツ団体(プロスポーツ団体等)の有する人的財産(トップアスリートやトップコーチ等)を活用して国スポ選手等の競技力強化を図るほか、子どもの運動・スポーツが好きになる機会の創出を推進し、競技者のすそ野拡大を図ることによって中・長期的な競技力向上に取り組み、次世代を担うジュニアアスリートを育成し、トップアスリート層の拡大を図る。 また、競技団体の提案型による選手の発掘から育成・強化に対して補助することで、次回開催のオリンピックで活躍できる兵庫ゆかりのトップアスリートの輩出をめざす。	定額	198,317	194,933	△3,384	スポーツ振興課
3	公益財団法人兵庫県スポーツ協会	国民スポーツ大会兵庫県選手団派遣費補助事業 国民スポーツ大会の近畿地区の予選会である近畿ブロック大会と本大会に出場する監督・選手派遣費等を補助することにより、本県選手団の活躍を促進し、本県におけるスポーツ振興に大きく寄与することを目的とする。 【第78回国民スポーツ大会】 佐賀県 令和6年10月5日～10月15日 【第79回国民スポーツ大会冬季大会】 岡山県・群馬県・秋田県 令和7年1月～2月 ※岡山県：ショートトラック・フィギュア・アイスホッケー 群馬県：スピード 秋田県：スキー	定額	54,284	47,214	△7,070	スポーツ振興課

	スポーツ 振興団体名	事業名・事業概要	補助 率	R5 補助 金額	R6 補助 金額	増減額	所管課
4	公益財団法人 兵庫県スポーツ 協会加盟団 体等	スポーツ大会招致事業 （「はばタンスポーツ基金」活用事業） 質の高い競技や演技を観戦する機会を 県民に提供するため、のじぎく国体・大 会を契機に設置した「はばタンスポーツ 基金」を活用し、全国、国際規模の大会 等を招致する。 ・ 助成対象 （公財）兵庫県スポーツ協 会及び JSP0、JOC に加盟する団体が主 催または主管する国際大会や全国規模 の競技大会等競技の聖地化に向けて、 複数年連続（上限3回）に拡充（現行1 回） ・ 助成額 大会運営費（食料費、事 務局運営費、備品購入費等除く）に応 じた助成（1大会上限100万円）	定額	6,000	6,000	0	スポーツ 振興課
5	ひょうご女性 スポーツの会	「ひょうご女性スポーツの会」運営費補助 女性のスポーツ環境の向上、女性スポ ーツ人口の増加をめざし、女性の競技別 大会の開催や競技の枠を越えた研修会に 取り組むひょうご女性スポーツの会の活 動を支援する。	定額	4,300	3,500	△800	スポーツ 振興課
6	公益財団法人 兵庫県障害者 スポーツ協会	はばタン障害者スポーツ振興事業 （「はばタンスポーツ基金」活用事業） 障害者スポーツに親しむことができる 参加型イベントや県内各地で地元住民に より開催されるスポーツイベントの支援 等の事業を実施する。	定額	2,600	2,170	△430	ユニバーサル 推進課
7	社会福祉法人 兵庫県社会福 祉事業団	西播磨総合リハビリテーションセンタースポーツ事業推 進費補助 障害者スポーツの振興及びスポーツを 通じたりハビリテーションの推進を図る ため、西播磨総合リハビリテーションセ ンター内の「ふれあいスポーツ交流館」 において実施するスポーツ事業を支援す る。	定額	36,642	36,543	△99	ユニバーサル 推進課
			計	362,144	362,731	587	

7 その他